

(専門分野 I)

授業科目	日常生活の援助技術IV	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.活動・休息・睡眠の意義を理解する。 2.活動・休息・睡眠を促す看護技術を習得する。 3.呼吸を安楽にする看護技術を習得する。			時間数	30
				学年	1
				時期	
				第1~2学期	
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1	基本的活動の基礎知識	1.活動・運動とは 2.よい姿勢 3.ボディメカニクス 4.活動・運動の効果 5.活動・運動制限が及ぼす影響		講義	教員
2	活動を促す援助	1.日常生活動作の分類 2.活動のアセスメント 3.基本体位と特殊体位 4.体位保持（ポジショニング）の援助 5.関節可動域訓練と筋力強化訓練		講義	教員
3	移動の援助 体位変換①	1.移動の援助 体位変換・歩行・移乗・移送 2.体位変換の援助の基礎知識		講義	教員
4	移動の援助 体位変換②	1.体位変換の援助の実際		演習	教員
5	移動の援助	1.車いすへの移乗・移送		講義	教員
6	移動の援助	1.ストレッチャーへの移乗・移送 2.歩行の援助		講義	教員
7	移乗・移送の実際	1.車いすへの移乗・移送		演習	教員
8		2.ストレッチャーへの移乗・移送 3.補助具での歩行			
9	活動・休息の意義	1.活動と休息 2.生体リズムと概日リズム 3.活動と休息のバランス		講義	教員
	睡眠・休息を促す援助	1.睡眠の種類とメカニズム 2.睡眠障害のアセスメント 3.日常生活における睡眠・休息への援助			

10 11	安楽な呼吸を促す援助	1.呼吸困難のある対象の心理 2.呼吸を楽にする体位と呼吸法 3.酸素の供給システム 4.酸素投与器具とその特徴 5.中央配管方式による酸素吸入 6.酸素ポンベによる酸素吸入 7.吸入療法 蒸気・薬液吸入	講義	教員
12	安楽な呼吸を促す援助	1.排痰を促すケの目的 2.体位ドレナージ 3.咳嗽介助 4.一時的吸引の目的と適応、禁忌 5.口腔・鼻腔吸引の実施方法と留意点 6.気管内吸引の実施方法と留意点	講義	教員
13 14	酸素吸入と一時的吸引の実際	1.酸素ポンベによる酸素吸入療法の実際 2.一時的吸引の実際	演習	教員
15	評価	筆記試験 まとめ		
評価 方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 看護がみえる vol.①基礎看護技術 看護が見える vol.②臨床看護技術	